

### 事例3 社会的事象の見方・考え方を働かせるために指導方法を工夫した事例

○学年 第3学年

○主な領域 内容(4)ア(ア)(イ)・イ(ア) 市の様子の移り変わり

○事例のポイント

- ①児童一人一人の「問い」を引き出すことで、学習問題を立てられるようにする。
- ②「学びの振り返り」を効果的に位置付け、学習したことを自分たちのこととして考えることができるようにする。
- ③ICT端末でデジタル地図の利用やデジタル年表の作成を行い、思考を深めることができるようにする。

#### 1 小単元名 「市や人々の生活のうつりかわり」(19時間)

#### 2 小単元について(略)

#### 3 小単元の目標と評価規準

##### (1) 目標

市の様子の移り変わりについて、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、関係者や地域の人などに聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表や白地図などにまとめることで市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現することを通して、市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い移り変わってきたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

##### (2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いについて関係者や地域の人などに聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、市や人々の生活の様子を理解している。</p> <p>②調べたことを年表にまとめ、市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。</p>	<p>①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して問いを見だし、市や人々の生活の様子について考え表現している。</p> <p>②駅や鉄道、公共施設ができたこと、人口が変化してきたこと、土地利用の様子や生活の道具が変わったことなどを相互に関連付けたり、市の様子の変化と人々の生活の様子の変化を結び付けたりして、市や人々生活の様子の変化を考え、適切に表現している。</p>	<p>①市や人々の生活の様子の移り変わりについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②市の一員として、これからの市の発展に関心をもち、市の将来の姿について進んで話し合い、考えようとしている。</p>

#### 4 小単元の指導計画・評価計画(19時間)

過程	○主な学習活動 ・学習内容	【評価の観点】内容〈方法〉 ※網掛けは評価した結果を記録に残す場面	資料等

つ か	<p>①明治時代と今の写真を基に、熊谷市や人々の生活の様子について話し合い、学習問題を立てる。(本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昔と今の熊谷市や人々の生活の様子</li> </ul> <p>事例のポイント① 昔と今の熊谷市や人々の生活の様子を「小学生」、「食事」、「家」、「まちなみ」の4つの視点で話し合い、「まちなみや人々の生活はどのように変わってきたのだろう。」という問いをもたせ、学習問題を立てる。</p>	<p>【思・判・表①】</p> <p>昔と今で熊谷市や人々の生活の様子が変化していることに着目して学習問題を考え、表現している。</p> <p>〈発言・ノート〉</p> <p>事例のポイント② 昔と今の熊谷市や人々の生活の様子を比べることで、「自分たちの生活や社会」に対する振り返りを行う。</p>	<p>・昔と今の写真</p>
	<p>学習問題</p> <p>熊谷市や人々の生活の様子は、どのように変化してきたのだろう。</p>		
む	<p>②学習問題に対する予想と学習計画を立てる。</p> <p>編 P49 指導計画作成の留意事項(2)</p>	<p>【態①】</p> <p>市や人々の生活の様子の移り変わりについて予想や学習計画を立て、主体的に学習問題を解決しようとしている。</p> <p>〈ノート〉</p>	
調	<p>③④昔の生活のイラストやゲストティーチャーの話などから、昔の生活はどのような様子だったのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昔の道具を使っていたころの生活の様子</li> <li>昔の生活の道具の使い方</li> <li>昔の熊谷市の様子</li> </ul>	<p>【知・技①】</p> <p>資料やゲストティーチャーの話を基に、昔の道具を使って工夫しながら生活していたことを読み取っている。</p> <p>〈発言・ノート〉</p>	<p>・昔の生活のイラスト</p>
べ	<p>⑤⑥⑦昔の道具の写真から、生活の中の道具はどのように変わってきたのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かまど→ガスコンロ→IH</li> <li>洗濯板→洗濯機→ドラム式洗濯機</li> <li>道具の時期による違い</li> </ul>	<p>【知・技②】</p> <p>写真資料を基に、時代とともに道具が改良され、人々の生活が移り変わってきたことを理解している。</p> <p>〈発言・ノート〉</p>	<p>・昔の生活の道具の写真</p>
る	<p>⑧⑨デジタル地図を基に、高崎線ができたことによって、土地利用はどのように変化したのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当時の熊谷駅の様子</li> <li>土地利用の時期による違い</li> </ul> <p>事例のポイント③ 昔と今の航空写真をデジタル化し、資料を透過して重ねたり、並べて見比べたりして、土地利用の変化を読み取ることができるようにする。</p>	<p>【知・技①】</p> <p>熊谷駅ができたことにより土地利用が変化したことを理解している。</p> <p>〈発言・ノート〉</p>	<p>・駅の写真</p> <p>・地図</p> <p>・土地利用図</p>

調 べ	<p>⑩⑪航空写真と地図を比較して、市の交通と土地利用などはどのように変化したのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>秩父鉄道（鉄道の整備）</li> <li>国道17号（道路の整備）</li> <li>上越新幹線（鉄道の整備）</li> </ul>	<p>【知・技②】</p> <p>道路や鉄道が整備されたことにより、わたしたちの生活が移り変わりや土地利用の変化などを理解している。</p> <p>〈発言・ノート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空写真</li> <li>地図</li> <li>路線図</li> </ul>
	<p>事例のポイント③</p> <p>「地理院地図」を活用して、熊谷市の航空写真から交通の様子を読み取らせる。明治時代は田や畑が広がっていた地域が、今は道路や鉄道ができたことにより、住宅が多く増えていることに気付かせ、変遷を読み取るようにする。</p>		
る	<p>⑫⑬人口変化のグラフから、市の公共施設はどのように変化したのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市役所、荒川大橋の建設時期</li> <li>裁判所、図書館、熊谷ドームなどの建設時期</li> <li>人口の変化、時期による違い</li> <li>市町村の合併</li> </ul>	<p>【知・技②】</p> <p>公共施設が増えたことは人口の変化と関係があること理解している。</p> <p>〈発言・ノート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昔と今の公共施設の写真</li> <li>人口変化のグラフ</li> </ul>
	<p>事例のポイント②</p> <p>グラフから公共施設が建設されている時期と人口が増えている時期を関連付けて記述し、「学び方」に対する振り返りを行う。</p>		
ま	<p>⑭熊谷市や人々の生活の様子の変化を年表に整理する。</p>	<p>【知・技②】</p> <p>調べたことを年表にまとめ、市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。</p> <p>〈発言・年表〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年表</li> </ul>
	<p>事例のポイント③</p> <p>ICT端末を活用して、熊谷市や人々の生活の様子をデジタル年表にまとめ、特色をまとめる。そして、事実と事実を関連付けながら考えることができるようにする。</p>		
と め る	<p>⑮⑯熊谷市の移り変わりについて話し合い、熊谷市の人々の生活の様子の変化と関連付けて考え、学習問題の結論を導き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>熊谷市の移り変わり</li> <li>熊谷市の人々の生活の様子の変化</li> </ul>	<p>【思・判・表②】</p> <p>調べたことを基に、市の様子の変化と人々の生活の様子の変化を結び付けて考え、適切に表現している。</p> <p>〈発言・ノート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年表</li> </ul>
	<p>事例のポイント②</p> <p>昔から今にかけて熊谷市の移り変わりや人々の生活の変化を関連付けて記述し、「学んだ内容」に対する振り返りを行う。</p>		
	<p>学習問題の結論</p> <p>昔の熊谷市は、市の大きさが小さく、田や畑が多くて人口は少なかったが、今は交通が発達し、図書館や公園などの公共施設や住宅地が増え、人口も増加した。時間の経過に伴い、人々の生活の様子は移り変わり、生活で使う道具などが改良された。</p>		
生 か す	<p>⑰⑱⑲自分たちの住んでいる市が抱える課題を知り、現在市が行っている取組を調べ、これからの熊谷市の発展について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>少子化と高齢化</li> <li>多文化共生が進んでいること</li> <li>学んだことを生かすこと</li> <li>市の将来について考えること</li> </ul>	<p>【態②】</p> <p>市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを知り、市の発展について考えようとしている。</p> <p>〈発言・ノート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口推移予想</li> </ul>
	<p>事例のポイント②</p> <p>自分たちの市の課題について、学習したことを生かしなが自分たちにできることを考え、表現することで「自分たちの生活や社会」に対する振り返りを行う。</p>	<p>編 P49 指導計画作成の留意事項(5)</p>	

5 本時の学習指導（1／19 時間）

(1) 目標

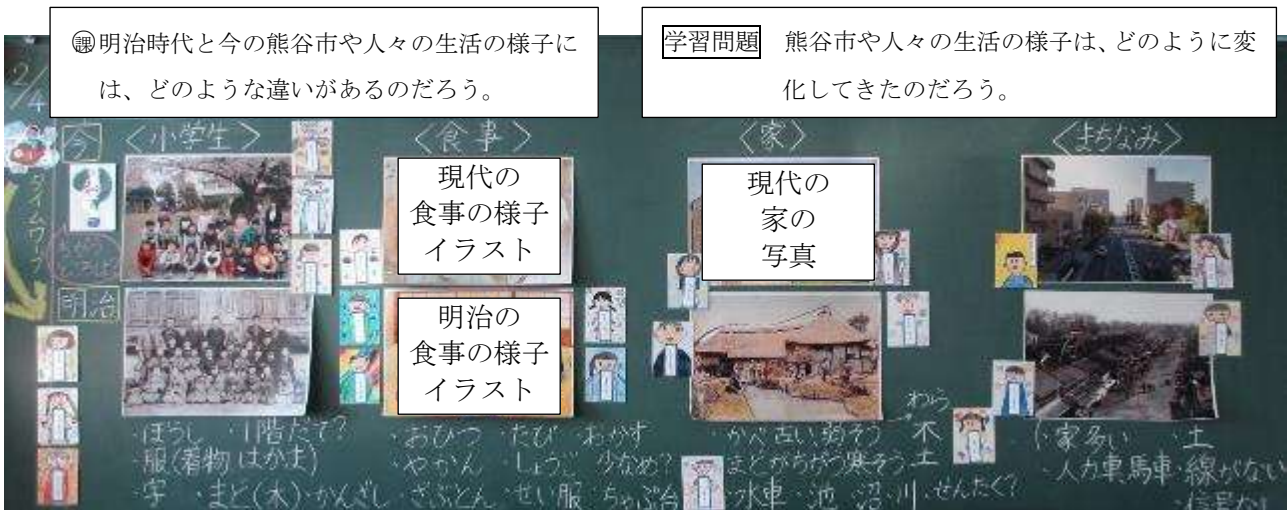
明治時代と今の生活の様子を比べ、熊谷市や人々の生活の様子の移り変わりについて学習問題を考え、表現することができる。

〈思考力、判断力、表現力等〉

(2) 展開

主な学習活動 ・ 学習内容	・ 指導上の留意点 評価 〈方法〉	資料等	時間
<p>1 写真から明治時代の【小学生】の様子を捉え、課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 服装</li> <li>・ 髪型</li> <li>・ 校舎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明治時代と今の小学生の写真を比較させ、服装や髪形の差異から、昔の生活の様子について問題意識を高めさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明治時代と現在の小学生の写真</li> </ul>	5
<p>課題 明治時代と今の熊谷市や人々の生活の様子には、どのような違いがあるのだろうか。</p>			
	<p>事例のポイント① 明治時代と今の「小学生」の写真2枚を提示し、比較するためのポイント（時間・空間）をつかませ、資料を読み取ることができるようにする。</p>		
<p>2 資料を使って、明治時代の【食事・家・まちなみ】の様子を調べ、話し合う。</p> <p>①個人 ②グループ ③全体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道具</li> <li>・ 建物</li> <li>・ 人々</li> <li>・ 熊谷市の様子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学生の様子だけでなく、食事や家、まちなみについても変化していることに気付かせるようにする。</li> <li>・ グループで意見を交換し合う中で、意見を付け足したい場合は、その都度書き足していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事</li> <li>・ 家</li> <li>・ 熊谷の様子</li> <li>・ 写真</li> </ul>	15
<p>①個人で考える</p> 	<p>事例のポイント① 人々の生活の様子を「食事」、「家」、「まちなみ」の3つの視点で明治時代と今の違いを話し合う。 初めに1人1人が資料を基に、昔と今を比べて、違っているところを書き込む。 次に、グループで意見を交換・共有し、考えを深める。</p>		
<p>②グループで話し合う</p> 	<p>評明治時代と今の人々の生活の様子を比べ、熊谷市や人々の生活の様子の移り変わりについて学習問題を立て、表現している。</p> <p>【思・判・表①】 &lt;発言・ノート&gt; ⇒昔と今の比較から、学習問題につながる自分自身の問いを考えることが難しい児童には、学級全体で出させた問いを基に学習問題を立てることができるようにする。</p>		15
<p>学習問題 熊谷市や人々の生活の様子は、どのように変化してきたのだろうか。</p>			
<p>4 学習問題の予想を考えることで、次時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熊谷市や人々の生活の様子の移り変わりについて予想すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昔から今までの熊谷市や人々の生活の様子の移り変わりについて、自分としての考えを書き込むことで、児童自らの学びや社会とのつながりを考え、自己の変容を自覚することができるようにする。</li> </ul>		10

## 6 板書の写真



出典：明治時代の集合写真（写真提供：京都市学校歴史博物館）明治時代の家の写真（森田健司・蔵）  
まちなみの今と明治時代の写真（写真提供：熊谷市教育委員会）

## 7 事例のポイントと考察

### (1) 事例のポイントについて

ア ①児童一人一人の「問い」を引き出すことで、学習問題を立てられるようにする。

本事例では、第①時において児童が人々の生活の様子を「小学生」、「食事」、「家」、「まちなみ」の4つの視点で、昔と今の違いを話し合った。

これは、児童に4つの視点を与えることで、社会的事象の見方・考え方を働かせて、熊谷市や人々の生活の様子の移り変わりに問題意識を高めさせ、「調べる」過程で追究させていくためである。

実際の授業では、児童が自ら「問い」をもち、学習問題を立てることができた。



昔と今を比べるといっぱい違うところがあるよ!!  
昔は小学生が着物や袴を着ているね。

熊谷市の様子も昔と今を比べると変わっているな。  
まちなみや人々の生活は、どのように変わってきたのかな？



### 学習問題

熊谷市や人々の生活の様子は、どのように変化してきたのだろうか。



なぜ昔と今ではこんなにも様子が変わっているのだろうか？  
熊谷市や人々の生活の様子には、何か関係があるのかな？調べてみよう!!

イ ②「学びの振り返り」を効果的に位置付け、学習したことを自分たちのこととして考えることができるようにする。

本事例では、単元計画の中に「学びの振り返り」を適切に位置付け、学習場面のねらいに応じて、「自分たちの生活や社会」、「学び方」、「学んだ内容」に対する振り返りを行った。

これは、学習場面のねらいに応じて「学びの振り返り」を行うことが、児童自らが社会的事象の見方・考え方を働かせることにつながると考えたためである。

実際の授業では、第①時で「自分たちの生活や社会」、第⑫時で「学び方」、第⑮時で「学ん

だ内容」に対する「学びの振り返り」を行うことで、昔と今を比べたり、もし自分が昔の時代に生きていたらなどを考えたり、児童自らの学びや社会とのつながりを考えたりすることができた。

【学びの振り返りのポイント】

- ・～と考えました。～と思いました。
- ・抽象→具体（例えば） ・具体→抽象（つまり）
- ・最初は〇〇〇（予想）と考えていたけれど、□□□と考えが変わった。なぜなら△△△だからである。
- ・自分の地域と比べて… ・今と比べて…
- ・〇〇〇についてわかったが、□□□についてはまだ解決していない。だから…。
- ・友達の意見を聞いて…。

第①時「つかむ」過程 「自分たちの生活や社会」の視点での振り返りの例

明治時代の小学生は、着物や  
せい服を着ているのかふしき  
に思いました。  
前の家は、どうして、屋根が  
わらなのか、知りたいです。

これまで当たり前だと思っていたこと（洋服を着ている）から、なぜ明治時代は着物や制服を着ているのかについて疑問をもつことができた。



第②時「調べる」過程 「学び方」の視点での振り返りの例

学びの振り返り  
1937年に熊谷町がたん生し  
その時は人口が約2万人だった  
けれど、現在は約20万人にも  
増えた。公共施設が立てられた  
年表を関連付けて考えると、ど  
んどん人口が増えていく中で、  
公共施設も増えていったことが  
わかる。

人口のグラフと公共施設が建設された年表を関連付けながら考え、人口増加と公共施設の増加に関係があることに気付くことができた。



第③時「まとめる」過程 「学んだ内容」の視点での振り返りの例

学びの振り返り  
熊谷市は、昔は田んぼや畑が多  
かったけれど、今は住宅地が増  
え、熊谷市に住む人が増加した  
ことがわかった。時代が移り変  
わっていく中で、人々が使っ  
ている道具も変化してきた。

デジタル年表を基に、昔は田んぼや畑だったところが、今は住宅地になり、人口も増えていることに気付いた。また、道具も時代とともに移り変わってきたことを年表にまとめることができた。



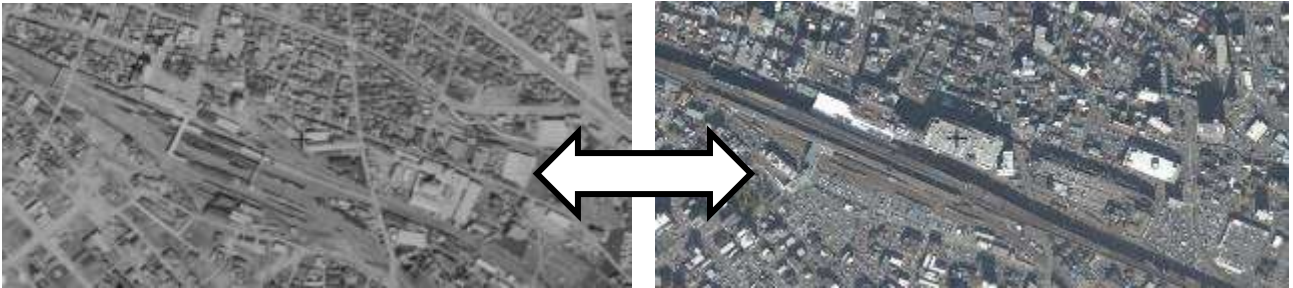
ウ ③ICT端末でデジタル地図の利用やデジタル年表の作成を行い、思考を深めることができるようにする。

本事例では、「地理院地図」や航空写真などの資料を使用する際に、デジタル化されたものをICT端末で活用し、複数の資料を重ねたり並べて見比べたりすることに取り組んだ。

これによって、児童が社会的事象の見方・考え方を働かせて考えられたと捉えている。

「調べる」過程の第⑧～⑩時では、熊谷駅の昔と今の航空写真を提示した。また、「まとめる」過程の第⑭～⑯時では、デジタル年表などの資料を提示した。複数の資料を重ねたり並べて見比べたりすることを通して、児童は社会的事象の見方・考え方を働かせ、写真から土地利用の様子が変わったことなどを関連付けたり、デジタル年表の作成から市の様子の変化と人々の生活の様子を結び付けたりして考えることができた。

第⑧～⑩時「調べる」過程



【1961年 熊谷駅】

【2015年 熊谷駅】

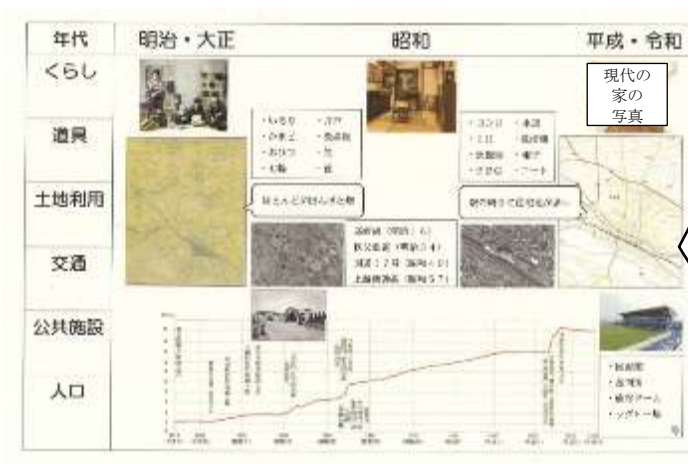


年代が違う航空写真を重ねてみると、熊谷駅の大きさが変わったことが分かるよ！  
駅の周りも田んぼだったところにたくさんの大きな建物がたくさん増えているね！

出典：国土地理院ウェブサイト

[https://maps.gsi.go.jp/#17/36.139469/139.391667/&base=std&ls=std%7Cseamlessphoto%7Cgazo4%7Cort\\_1928%7Cgsi-compare-photo&blend=0000&disp=11&lcd=gsi-compare-photo&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1&d=m](https://maps.gsi.go.jp/#17/36.139469/139.391667/&base=std&ls=std%7Cseamlessphoto%7Cgazo4%7Cort_1928%7Cgsi-compare-photo&blend=0000&disp=11&lcd=gsi-compare-photo&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1&d=m)

第⑭～⑯時「まとめる」過程



第⑭時では、今まで学習してきたことを基に、複数の資料から市の様子の変化と人々の生活の様子を結び付けながら、デジタル年表を作成した。  
第⑯・⑰時では、時間の経過に伴って市の様子と人々の生活の様子が変わってきたことを理解し、学習問題の結論を導き出した。

出典：明治大正の暮らしの写真（明治の台所、江波信國撮影）  
昭和の暮らしの写真（写真提供：台東区立下町風俗資料館）  
熊谷市ラグビー場の写真（写真提供：熊谷市）  
その他の資料の写真（写真提供：熊谷市教育委員会）

## (2) 実践に当たっての留意点

「社会的事象の見方・考え方を働かせる」とは、「児童が時間、空間、相互関係などの視点に着目して捉えること。さらにそれらを比較・分類したり、総合したり地域の人々や国民の生活と関連付けたりするなどの方法を通して考え、課題を追究したり解決したりする」ことである。

「つかむ」過程で、昔(明治)と今(令和)の熊谷市や人々の生活の様子を位置や空間的な広がり視点と時期や時間の経過の視点を用いて話し合い、「まちなみや人々の生活は、どのように変わってきたのだろう。」という問いをもたせ、学習問題を導くことができるようにする。

本実践をするに当たって、さらにこれからの社会の在り方について、自分との関わりを意識して考えられるように、これからの熊谷市の発展を深く考え、主体的に学習させる必要がある。そのために、郷土資料館の活用や博学連携を学習計画に位置付けて行うことも有効である。